

令和6年度

赤十字やまがた

赤十字は、 動いている！

あなたと想いをひとつにして。

災害、紛争、貧困や感染症...
多くの人を苦しめる人道危機は、
世界中でますます深刻化しています。
幸せな生活を理不尽に奪われ、
傷つき苦しんでいる人たちを救いたい。
あなたのその想いを担って、
赤十字は今日も明日も活動を続けます。
いかなる状況下でも、
人のいのちと健康と尊厳は、
守られなければならない。
365日とぎれることのない救護と支援は、
あなたと赤十字のアクションです。



TEAM
SAVE365 一緒なら、救える。

日本赤十字社の活動は、皆様の寄付によって支えられています。

 **日本赤十字社**
Japanese Red Cross Society

活動資金にご協力ください

 **日本赤十字社** 山形県支部
Japanese Red Cross Society

人間を救うのは、人間だ。Our world. Your move.

わたしたちの山形県



日本赤十字社山形県支部
支部長 吉村 美栄子

会費ご協力のお願い

赤十字事業につきましては、日頃より県民の皆様から温かいご支援とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

日本赤十字社では、「人間のいのちと健康、尊厳を守る」という人道的使命に基づき、国内災害救護、救急法等の普及、赤十字奉仕団、青少年赤十字、国際活動、血液事業など、多岐に渡る事業を展開しております。

本年1月1日に発生した「令和6年能登半島地震」では、石川県能登地方を中心に、地震や津波による住家の倒壊やライフラインの寸断など、大きな被害が発生しました。

多くの人々が日常を奪われ、不自由な避難生活を送る中、日本赤十字社では発災直後から医療救護班の派遣や救援物資の配布など、被災地支援のために活動を行いました。

当県支部におきましても、直ちに災害対策本部を設置し情報収集を行ったほか、現地への医療救護班及びこころのケアのための要員の派遣、義援金の受付など、赤十字の役割と使命を果たすべく、総力を挙げて被災者支援に取り組みました。

私たちを取り巻く環境は、時代と共に急激に変化しておりますが、いかなる状況下においても人道・博愛の精神を掲げ、苦しんでいる人のいのちと健康を守る日本赤十字社の活動に対しましては、国民の皆様から大きな期待が寄せられております。

当県支部といたしましては、社会のニーズに合わせ、世界191の国と地域に広がる赤十字・赤新月社のネットワークを生かして、地域の皆様の期待に応えられる事業を実施してまいります。

赤十字の活動は、県民の皆様からご協力をいただいております会費や寄付金によって支えられております。今年度につきましても、皆様のご支援とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



赤十字会員制度について

区分	ご協力金額	ご協力にあたっての要件
赤十字会員 (会費)	年額2,000円以上	納入者単独の氏名、住所、納入日、納入額、赤十字からの情報提供の要否が明確である方
赤十字協力会員 (会費)	年額2,000円未満	納入者単独の氏名、住所、納入日、納入額が明確である方
寄付者 (寄付金)	任意の金額	・町内会一括納入などで、納入者単独の判別ができない場合 ・匿名での納入の場合

山形県では、目安として年額700円以上でのご協力をお願いしています。

※日本赤十字社への会費等のご協力は、あくまでも任意となっており、強制するものではありません。県民の皆様には、赤十字の趣旨を何卒ご理解のうえ、今後とも継続的な支援をお願いいたします。

活動資金(会費・寄付金)と災害義援金の違いについて

◇活動資金とは? いのちと健康、尊厳を守るため、赤十字の活動を支援するお金

寄付者の皆様 → 災害救護等の赤十字活動 → 国内外で苦しんでいる様々な人々を支援

活動資金は災害救護等赤十字の様々な人道的活動に役立てられます。

◇災害義援金とは? 被災された方々の生活支援や応援の気持ちを込めて贈るお金

寄付者の皆様 → 日本赤十字社 → 被災された都道府県の義援金配分委員会 市町村等の自治体 → 被災地で苦しんでいる方々へ

日本赤十字社で預かりした義援金は、義援金配分委員会及び被災自治体等を通して、**全額**被災された方々に届けられます。



税制上の優遇措置について

日本赤十字社に対する一定額以上の寄付等のご協力には、税制上の優遇措置が適用されます。
詳細については、お近くの税務署や税務相談窓口、税理士または日本赤十字社山形県支部にご相談ください。

個人の場合	区分	所得控除 (特定寄付金)	住民税控除 (指定寄付金)	相続税非課税
	寄付内容	日本赤十字社にお寄せいただいた寄付等で、日本赤十字社の事業に充当されるものをいいます。	日本赤十字社各都道府県支部にお寄せいただいた寄付等で、総務大臣の指定(※1)を受けた事業に充当されるものをいいます。(※2)	日本赤十字社各都道府県支部にお寄せいただいた寄付等で、総務大臣の指定(※1)を受けた事業に充当されるものをいいます。(※2)
措置の内容等	寄付等の全額(ただし、上限は寄付者の年間所得額の40%)から2千円を差し引いた額が、寄付者の年間所得総額から控除されます。	寄付等の全額(ただし、上限は寄付者の年間所得総額の30%)から2千円を差し引いた額の10%が、寄付者の住民税額から控除されます。	寄付等の全額(ただし、上限は寄付者の年間所得総額の30%)から2千円を差し引いた額の10%が、寄付者の住民税額から控除されます。	寄付した相続財産の価格は相続人が納めるべき相続税の課税価格に算入されません。
期間	通 年			
法人の場合	区分	損金算入 (指定寄付金)	損金算入限度額 (特定公益増進法人に対する寄付)	
	寄付内容	日本赤十字社にお寄せいただいた寄付等で、財務大臣の指定(※2)を受けた事業に充当されるものをいいます。	日本赤十字社にお寄せいただいた寄付等で、日本赤十字社の事業に充当されるものをいいます。	
	措置の内容等	寄付の金額が、法人の寄付金損金算入限度額にかかわらず、損金の額に算入されます。	寄付等の金額が、法人の通常有する寄付金の損金算入限度額とは別枠で、特定公益増進法人に対する寄付金の損金算入限度額として認められます。	
	期間	毎年4月～9月	通 年	

(※1)災害救護設備の整備など6つの事業が制度化されています。(※2)但し、支部の指定した事業計画の範囲が対象となります。



表彰制度について

赤十字活動資金へのご協力に対しては、日本赤十字社や国からの表彰制度がございます。

■国の表彰

- ◇紺綬褒章(個人500万円以上、法人1,000万円以上を納められた方)
- ◇厚生労働大臣感謝状(個人100万円以上、法人300万円以上を納められた方)※一時または同一年度内の累計

■日本赤十字社の表彰

- ◇日本赤十字社社長感謝状(金色有功章受章後、50万円以上を納められた都度)
- ◇金色有功章(50万円以上を納められた方)

(個人)



金色有功章記

徽章

男章

女章

セト門標

(法人)



金色有功章楯

徽章

セト門標

- ◇銀色有功章
(20万円以上を納められた方)

(個人・法人)



銀色有功章楯

徽章

セト門標

- ◇特別社員
(会費2,000円×10年または一括2万円を納められた方)



特別社員章

セト門標



国内災害救護

令和6年度の事業計画

- 災害救護対応力の強化
- 防災ボランティアの育成
- 地域コミュニティにおける防災教育の推進
- 地域包括ケアシステムへの貢献

1. 令和6年能登半島地震災害への対応

令和6年1月1日に石川県能登地方で発生した地震災害(令和6年能登半島地震)に対し、直ちに救護体制に移行し、以下のとおり救護活動に努めました。

(1) 連絡調整員(リエゾン)の派遣

派遣先	派遣期間	活動内容	派遣者
山形県災害対策本部 (山形県庁)	1月1日(月)～2日(火)	情報収集及び関係機関との連携 山形県災害対策本部委員会議への参加(計2回)	支部職員 延べ 2名

(2) 救護班の派遣

	派遣先	派遣期間	派遣救護班	派遣人数
第1班	石川県能登町	1月12日(金)～16日(火)	日赤日本海総合病院救護班	日本海総合病院 6名 日赤山形県支部 2名
第2班	石川県珠洲市	1月26日(金)～30日(火)	日赤北村山公立病院救護班	北村山公立病院 7名 日赤山形県支部 2名
第3班	石川県能登町	2月3日(土)～7日(水)	日赤公立置賜総合病院救護班	公立置賜総合病院 5名 日赤山形県支部 2名
第4班	石川県珠洲市	2月29日(木)～3月4日(月)	日赤山形県立河北病院救護班	山形県立河北病院 7名 日赤山形県支部 2名



日赤石川県支部災害対策本部で説明を受ける救護班



避難所管理者からの状況聞き取り



避難所に避難された方々一人ひとりに声をかけ診療を行う



地域の集会場へ避難された方への巡回診療



テントの救護所内で診療を行う救護班



風邪症状を心配した親子を救護所へ案内

2. 災害救護活動用器材の整備

災害時に迅速に救護活動を実施するため、野外炊飯器、ワンタッチテントを各地区区分に配備しました。

**野外炊飯器
配備先(2)** 天童市地区、小国町分区

**ワンタッチ
テント
配備先(5)** 山形市地区、長井市地区
戸沢村分区、高島町分区
飯豊町分区



交付式で野外炊飯器及びワンタッチテントの交付を行った



ワンタッチテントの取り扱いについて説明

3. 救援車の設置助成

災害時における地域住民の避難・救護活動、その他赤十字事業の推進を図るため、地区区分に対し、救援車の設置に係る経費を助成しました。

救援車
助成先(2)

長井市地区、金山町分区



4. 赤十字防災セミナーの実施

地域や企業、赤十字奉仕団の要請を受け、支部職員を派遣し、非常災害時の炊き出し時実習や防災・減災の知識について学ぶセミナーを行いました。(7市町で計12回実施)



救援物資(段ボールベッド)の組み立て体験



災害時の非常食づくり体験

5. 被災世帯への援護

被災者総数…………… 61名(30世帯)

災害救援物資の配布

・毛布 44枚 ・緊急セット 23個

災害見舞金の交付 (全焼26件)…………… 520,000円

災害弔慰金の交付 (1件)…………… 20,000円



被災世帯へ配付される緊急セット



救急法等の普及

令和6年度の事業計画

- 赤十字救急法等の普及推進
- 救急法等指導員の養成
- 救急法等指導員の技術向上

1. 令和5年度の講習実施状況

講習名	実施回数	実施人数
救急法	312回	7,891名
水上安全法	27回	801名
雪上安全法	2回	35名
幼児安全法	82回	1,247名
健康生活支援講習	1回	8名
合計	424回	9,982名



感染症対策で開催を見合わせていた水上安全法や幼児安全法の養成講習を再開し、多くの方々に参加いただきました

2. イベントを活用した救急法等の普及

一次救命処置の大切さを少しでも多くの県民の方に普及し、いのちの大切さについて広めていくために、商業施設や地域のイベント会場において、一次救命処置体験コーナーを設置しました。(3市町で計5回実施)



親子で一緒にいのちの大切さ、心肺蘇生について学ぶ



赤十字奉仕団

令和6年度の事業計画

- 赤十字奉仕団活動の推進
- 赤十字奉仕団支部指導講師の養成
- ボランティア・リーダーの養成
- 地域ニーズに即した奉仕団活動を支援するための助成
- 赤十字奉仕団主催地域イベントなどの共同開催
- 地域赤十字奉仕団未結成地域での団設立に向けた取り組みの強化
- 東日本大震災の復興支援

令和5年度の登録状況

種類	団数	団員数
地域奉仕団	34団	2,023名
特殊奉仕団	5団	224名
青年奉仕団	2団	108名
合計	41団	2,355名

1. 赤十字ボランティア基礎研修会の実施

赤十字奉仕団に所属している団員の方々に対し、赤十字の組織、役割、赤十字ボランティアとして活動するための必要な知識等についてご理解いただき、赤十字ボランティアとしての意識の高揚を図ることを目的として研修会を開催しました。(3市町村で計3回実施)



基礎研修会の様子(段ボールベッド組み立て)

2. 東日本大震災復興支援事業の実施

東日本大震災で被災され、気仙沼市唐桑町大沢地区に移転された方々を訪問し、高島町赤十字奉仕団と共に山形芋煮等の振る舞い等を行いながら、住民の方々と交流を図りました。



気仙沼市唐桑町大沢地区の住民の方々との交流



青少年赤十字

令和6年度の事業計画

- 青少年赤十字加盟校活動の推進
- 防災教育プログラムの推進
- 国際交流事業・国際教育支援事業の推進
- 青少年赤十字指導者の育成
- 青少年赤十字メンバーの育成

令和5年度の登録状況

種類	加盟(園)校	メンバー数
幼稚園・保育園	20園	1,844名
小学校	88校	20,300名
中学校	46校	11,790名
高等学校	24校	1,881名
特別支援学校	2校	71名
合計	180(園)校	35,886名

1. 青少年赤十字リーダーシップ研修の実施

青少年赤十字活動におけるリーダーを養成するためのリーダーシップ研修について、参集のほか広域からの参加を見込み、Web開催や参集とWebを組み合わせたハイブリッド開催として実施しました。



小・中学校リーダーシップ研修の様子

2. 青少年赤十字防災教育プログラムを活用した防災教育出前授業の実施

青少年赤十字防災教育プログラムを活用し、防災・減災に繋がる出前授業を実施しました。座学のほか、段ボールベッドの組み立て体験や災害救援物資の紹介等を行い、防災意識の向上を図りました。(3市で計5回実施)

3. 青少年赤十字国際交流事業の実施

青少年赤十字の実践目標の一つである「国際理解・親善」の実践の機会とするため、大韓赤十字社大邱支社からRCYメンバー及び指導者を受け入れ、国際交流事業を実施しました。RCYメンバーと県内の高校生青少年赤十字メンバーは、共に防災を学ぶ研修に参加し、ワークショップを協力して行ったり、東日本大震災の語り部の話を聴き、感想や意見を交換したりするなどして互いに交流を深めました。



ワークショップや意見交換を通して韓国のRCYメンバーと交流を深めました



国際活動

令和6年度の事業計画

- 国際救援活動の支援(第1ブロック支部〔北海道・東北〕合同事業)
- 国際教育支援事業の実施 ● 救援事業のための募金活動

1. 第1ブロック支部〔北海道・東北〕合同国際活動

第1ブロック支部〔北海道・東北〕合同事業として、ラオスにおける救急法普及支援事業、バヌアツにおける青少年赤十字海外支援事業、ルワンダにおける気候変動等レジリエンス強化事業及びアフガニスタンにおける気候変動対策事業へ資金支援を行いました。(支援額 計720,000円)

2. NHK海外たすけあいキャンペーンの実施

頻発する自然災害や武力紛争への緊急救援活動、途上国の赤十字社支援のため、12月1日～25日まで実施した同キャンペーンの一環として、赤十字奉仕団員及び青少年赤十字メンバーから協力を得て、県内の商業施設等で街頭募金活動を実施しました。
(9市町、計11ヵ所で実施)



県内各地で多くの県民の方々からご協力をいただきました



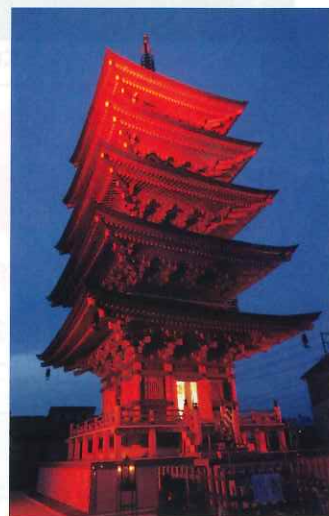
広報活動

令和6年度の事業計画

- 広報誌等の発行、配布による情報の発信
- 支部ホームページ及びソーシャルメディアによる積極的な情報の発信
- メディア(テレビ、ラジオ、新聞)を活用した広報活動の展開
- レッドライトアッププロジェクトの推進
- 赤十字広報資材貸出事業の実施
- 体験型赤十字広報イベントの推進
- 県内イベントへの参加による広報活動の展開

1. レッドライトアッププロジェクトの実施

5月の赤十字運動月間に、赤十字を広く国民に周知することを目的に全国各地の赤十字施設や歴史的建造物を赤十字のシンボルカラーである赤色に照らす「レッドライトアッププロジェクト」について、本県では常安寺五重塔(天童市)を会場に、5月5日から3日間実施しました。



常安寺五重塔(天童市)

2. 体験型赤十字広報イベントの実施

県民の皆様から広く赤十字事業にご理解とご協力をいただくため、他団体のイベントに参加するなどして、赤十字広報イベントを実施し、ご来場の皆様から非常時の炊き出しの方法や救急法などを実際に体験していただきました。





親子で非常炊き出しの方法や心肺蘇生を学ぶ来場者

3. 支部ホームページ及びソーシャルメディアによる情報発信

災害救護をはじめとする支部の取り組みや県内赤十字関係者の活動について、支部ホームページに加えて、若年層を中心としたソーシャルメディア利用者にも情報発信していくことを目的に支部専用ソーシャルメディアアカウントにて積極的に情報を発信しました。

※アカウントをお持ちの方は、ぜひご登録をお願いします。

<p>X (旧Twitter)</p>	<p>名前 日本赤十字社山形県支部 ユーザーネーム @nissekiyamagata</p>	
<p>Instagram</p>	<p>名前 日本赤十字社山形県支部 ユーザーネーム nisseki_yamagata</p>	

令和5年山形県赤十字大会を開催

日本赤十字社名誉副総裁高円宮妃殿下のご臨席を仰ぎ、「令和5年山形県赤十字大会」を開催しました。

赤十字事業の推進に貢献された方々を顕彰し、県民の皆様及び赤十字関係者との連携を一層強化し会員増強を図るとともに、赤十字思想の普及及び事業活動を推進するため、山形市の山形県総合文化芸術館(やまぎん県民ホール)を会場に開催しました。

令和5年山形県赤十字大会 式典

日 時／令和5年7月13日(木) 10時～11時15分

会 場／山形県総合文化芸術館

参会者数／687名

受賞者数／44名

(内訳) 金色有功章…36名 日本赤十字社社長感謝状…6名
紺綬褒章…1名 厚生労働大臣感謝状…1名



大会式典の様子

日本赤十字社名誉副総裁高円宮妃殿下 御視察

① 青少年赤十字活動発表会

7月12日(水)／天童市立第一中学校

② 献血会場御視察

7月12日(水)／日東ベスト株式会社山形工場



献血者にお声がけされる名誉副総裁



血液事業

令和6年度の事業計画

- 医療機関に対する血液製剤の安定供給の確立
- 需要に見合った適正かつ効率的な献血者数確保の推進
- 県民及び若年層に対する献血の普及・啓発
- 献血事前予約の推進及び献血Web会員サービスである「ラブラッド」の登録勧奨
- 輸血医療に関する調査・研究の推進



明治安田生命保険・Jリーグ・日本赤十字社
協働による「シャレン!」で献血
(モンテディオ山形ホームゲーム献血)

1. 献血者受入と医療機関への血液製剤の供給

献血バスの配車及び献血ルームSAKURAMBOでの献血の受入と、医療機関の要請に基づき血液製剤の供給を実施しました。

◇ 血液製剤供給実績 ※1単位=200mL

・赤血球製剤	49,666単位
・血漿製剤	15,438単位
・血小板製剤	60,085単位

◇ 献血受入実績

・200ml全血献血	740名
・400ml全血献血	26,310名
・成分献血	11,579名

2. 献血の普及・啓発

献血協力の拡充と、献血に関する理解促進を目的に、各種献血普及・啓発キャンペーン、学校・企業における献血セミナーを実施しました。

また、献血Web会員サービス「ラブラッド」への登録を勧奨し、「事前Web問診回答機能」の活用や献血の事前予約を推進しました。



予算・決算

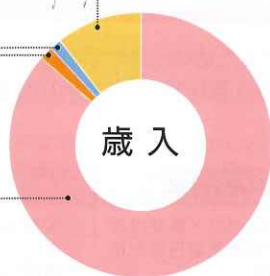
令和6年度歳入歳出予算／2億4,640万2千円

前年度繰越金
25,520千円(10.4%)

雑収入
3,465千円(1.4%)

補助金及び交付金収入
3,991千円(1.6%)

会費及び寄付金収入
213,426千円(86.6%)



施設管理等のため
41,214千円(16.7%)

支部活動の
管理運営のため
40,164千円(16.3%)

地区区分活動のため
32,379千円(13.1%)

血液事業のため
4,236千円(1.7%)

社資募集・広報活動のため
28,237千円(11.5%)



国際活動及び
本社事業のため
31,758千円(12.9%)

災害救護や災害への備えのため
19,685千円(8.0%)

救急法等の普及のため
18,516千円(7.5%)

赤十字ボランティアの
育成のため
16,697千円(6.8%)

青少年赤十字育成のため
13,516千円(5.5%)

令和5年度歳入歳出決算(見込)

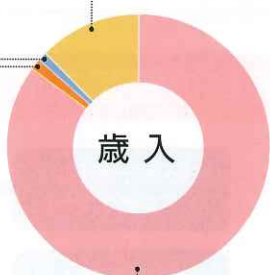
歳入／2億5,667万2千円

前年度繰越金
31,762千円(12.4%)

雑収入
2,839千円(1.1%)

補助金及び交付金収入
3,888千円(1.5%)

会費及び寄付金収入
218,183千円(85.0%)



歳出／2億3,115万2千円

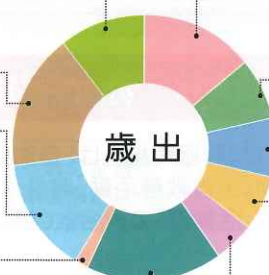
施設管理等のため
23,935千円(10.4%)

支部活動の
管理運営のため
38,496千円(16.7%)

地区区分活動のため
32,643千円(14.1%)

血液事業のため
4,042千円(1.7%)

社資募集・広報活動のため
38,757千円(16.8%)



国際活動及び
本社事業のため
32,557千円(14.1%)

災害救護や災害への備えのため
17,236千円(7.4%)

救急法等の普及のため
16,736千円(7.2%)

赤十字ボランティアの
育成のため
15,714千円(6.8%)

青少年赤十字育成のため
11,036千円(4.8%)



国内災害義援金・海外救援金の受付状況

国内災害義援金 (災害義援金は被災自治体を通じてその全額が被災者に届けられます。)

義援金名	件数	金額
令和5年5月能登半島地震災害義援金	227件	479,440円
令和5年台風第2号等大雨災害義援金	167件	260,853円
令和5年6月30日からの大雨災害義援金	188件	219,106円
令和5年7月7日からの大雨災害義援金	255件	1,390,863円
令和5年台風第6号災害義援金	174件	153,842円
令和5年台風第13号災害義援金	180件	215,433円
令和6年能登半島地震災害義援金	912件	36,071,725円
合計	2,103件	38,791,262円

海外救援金 (海外救援金は日本赤十字社本社を通じて被災者の支援に充てられます。)

救援金名	件数	金額
中東人道危機救援金	1件(88件)	20円(416,681円)
パングラデシュ南部避難民救援金	2件(117件)	1,011円(136,445円)
アフガニスタン人道危機救援金	2件(114件)	1,271円(129,886円)
ウクライナ人道危機救援金	136件(806件)	2,417,627円(33,485,726円)
2023年トルコシリア地震災害義援金	95件(95件)	2,634,871円(2,634,871円)
2023年アメリカ・ハワイ火災救援金	160件(160件)	169,607円(169,607円)
2023年モロッコ地震救援金	150件(150件)	124,361円(124,361円)
2023年リビア洪水救援金	121件(121件)	86,354円(86,354円)
2023年アフガニスタン地震救援金	136件(136件)	116,712円(116,712円)
イスラエル・ガザ人道危機救援金	117件(117件)	246,155円(246,155円)
小計	920件(1,904件)	5,797,989円(37,546,798円)
令和5年度NHK海外たすけあいキャンペーン寄付金	265件	806,653円
合計	1,185件(2,169件)	6,604,642円(38,353,451円)

※海外救援金の表の()内は、受付開始からの累計受付件数及び受付額

日本赤十字社山形県支部からのお知らせ



赤十字救急法等講習・赤十字防災セミナーのご案内

赤十字では、県民の皆様へ、救急法の知識及び技術を学んでいただくための「赤十字救急法等講習」や、自ら災害からのちを守り、被災に伴う心身の苦痛を軽減し地域コミュニティにおける「自助」「共助」の力を高めるための「赤十字防災セミナー」を実施しております。ぜひお申し込みください!

	対象者	内容	所要時間	申し込み手順	留意事項
講習 救急法等	事業所 自治会 町内会 学校等 各種団体単位	心肺蘇生・AEDを用いた電気ショック・止血・さずの手当て・骨折の手当て・搬送等	2時間 (短期講習)	①当支部(担当/事業推進課)あて開催希望日等を事前に連絡 ②支部HPから申込書類をダウンロードのうえ必要事項を記入し、当支部へ郵送 ※申込後、当支部から主催者様へ連絡させていただきます。	①実施会場は申込者様で手配願います。 ②講習に要する経費は無料です。(但し、人形等資材の運搬及び郵送費用は原則申込者様の負担となります)
セミナー 防災		「災害への備え」・「災害エスノグラフィー」・「災害図上訓練」等(その他、災害救援物資を展示し、実際に触れていただくこともできます)	30分～ 2時間 (要相談)		①実施会場は申込者様で手配願います。 ②セミナーに要する費用は無料です。



自動販売機で社会貢献 赤十字寄付金付自動販売機の設置先募集

赤十字寄付金付自動販売機とは、自動販売機設置者様の収入の一部を赤十字活動(災害救護活動、救急法等の講習普及、赤十字ボランティアの育成と活動等)の資金としてご寄付いただくものです。

- ・自動販売機の設置や売上金の回収、赤十字への振込等は業者におまかせでOK(電気代は設置者様で負担)
- ・売上の一部を赤十字へ寄付することを販売機のパネルで表示

補充・保守管理等は
全て業者が実施!

自動販売機は
省エネ対策も
バッチリです



赤十字寄付金付自動販売機を設置することで、設置者・購入者双方が気軽に社会貢献できるシステムです。日本赤十字社山形県支部では、赤十字寄付金付自動販売機の設置先を募集しておりますので、社会貢献事業の一つとしてぜひご検討いただき、気軽にお問い合わせください。



遺贈・相続財産等の赤十字への寄付をお願いします

「自分が亡くなった後、これまで築いた財産の一部を赤十字に寄付したい」といったご相談や、大切な方を亡くされたご遺族から、「故人の遺産を社会のために役立ててほしい」というお申し出を多くいただいております。

日本赤十字社山形県支部では、このような尊い思いに応えるために、遺贈(遺言によるご寄付)、相続財産等のご寄付を承っております。

◇「遺贈」遺言による寄付の場合

日本赤十字社に遺贈した財産は、相続税の課税対象になりません。地域に根差した赤十字活動を展開する支部を遺贈先とすることで、「ゆかりの地に恩返しをしたい」「大切な故郷を赤十字活動への支援を通じて支えたい」といった思いを叶えることができます。

◇「相続財産寄付」の場合

ご遺族の方が相続された財産を相続税の申告期限内(相続開始があったことを知った日の翌日から10ヵ月以内)に日本赤十字社に寄付した場合、寄付した財産には相続税がかかりません。

故人の思いを尊重し、ご遺族の方が相続により取得した財産の全部または一部を日本赤十字社へ寄付することで、国内外で災害、病気、紛争等で苦しむ人々のいのちを守る活動に広く役立てることができます。

◇「香典返し」の寄付の場合

香典返しをする代わりに、「故人の遺志を社会のために活かしたい」というご遺族が増えています。香典返しをご寄付いただいた場合は、ご仏前に添えて故人の在りし日を偲ぶことができるよう、亡くなられた方のご芳名を刻印した表彰楯などを贈らせていただきます。

日本赤十字社山形県支部への遺贈・相続財産寄付をお考えの際は、支部担当窓口(Tel.023-641-1353・組織振興課)または県内の弁護士、司法書士、税理士、行政書士、金融機関(地方銀行、信金、信組)へご相談ください。

※不動産についてはお取り扱いできませんのでご了承ください。

わたしたちも赤十字を支援しています



株式会社でん六 山形市清住町3丁目2-45 ☎023-644-4422

厨房器具製造 (ラグジュアリーホテル・テーマパーク等)



(株)三陽製作所

〒992-0473 南陽市地黒750-1 TEL 0238-47-5514
FAX 0238-47-3951



配電制御システムのリーディングカンパニー

株式会社 かわでん

「電気生きる一電気とともに発展する社会と共生し、人々の暮らしに貢献する」

本社・山形工場 〒999-2293 山形県南陽市小岩沢225番地
TEL0238-49-2011 FAX0238-50-0234 <http://www.kawaden.co.jp/>



山新建装株式会社

店舗デザイン設計/施工 文化施設 看板 イベント設営/運営
山形市富神台28番地 TEL.023-644-1661 <https://www.yamashin-kenso.co.jp>

荘内銀行

〒997-8611 山形県鶴岡市本町一丁目9番7号
電話:0235-22-5211(代表)

お客様に安心と豊かさを提供し 地域の健康元気を応援します

ヤマザワ

山形市あこや町三丁目8番9号 TEL 023-631-2211



食品物流サービス業



株式会社 マルナカ中村商店

〒990-2161 山形市漆山二ツ段2113-2
電話 023-686-6755
FAX 023-686-6762
<http://www.marunaka-n.co.jp>



大切なもの、人、夢、自然…。

MASKAWA 升川建設

代表取締役会長 升川 修
代表取締役社長 升川 大和

本社 山形県河北町谷地甲1083 ☎(0237)73-2233
山形本店 山形市馬見ヶ崎1丁目2の29 ☎(023)681-3944

企業繁栄のパートナー!!

佐藤登美子 税理士事務所

山形市松栄一丁目5-58 ☎023-644-7535
<https://tomiko-sato.tcnf.com>

自然にやさしく環境を大切にしています
株式会社 鈴木工務店

代表取締役 鈴木 譲

鶴岡市布目字宮田163番地4
TEL 0235-28-2758



株式会社 リプライ

〒991-0041 山形県寒河江市石田4 4
TEL 0237-86-9171

<https://reply-net.com/>



県内4つの

SHINKIN 信用金庫



山形信用金庫

いつも一緒に、あなたのそばに。
米沢信用金庫



つなぐ力で100年幸せな街づくり
鶴岡信用金庫

おたくも
うちも 新庄信用金庫



技術・未来への約束

沼田建設株式会社

代表取締役社長 かねた たかし
金田 孝司

本社: 〒996-0041 山形県新庄市大字鳥越1780-1 TEL(0233)22-6811
山形支社: 〒990-0046 山形県山形市大手町8-12 Nビル2F TEL(023)642-8844

URL <https://numaken.co.jp>



株式会社

山形ミートランド

山形県寒河江市中央工業団地 155-12
TEL.0237-83-0329



安心と信頼の絆で、
未来に寄り添う。

くらしの保障、相談するなら

JA共済

※ご加入にあたりましては、お近くのJAへお問い合わせください。
どなたでもご相談いただけます。
■JA共済ホームページアドレス <https://www.ja-kyosai.or.jp>

わたしたちも赤十字を支援しています

人にやさしく、自然を大切に
遠藤商事

本社/〒990-8558 山形市穂積 85 TEL:023-631-1331

夢を追いかける
You Can Chase your dreams.

株式会社YCC情報システム

本社/山形市松波4-5-12 TEL.023-641-4667 <https://www.yamagata-ycc.co.jp>

Panasonic

山形パナソニック

山形市平清水一丁目1番75号 代表取締役会長 清野 伸昭
山形本社・庄内・鶴岡・米沢・新庄・仙台 代表取締役社長 清野 寿啓
y-panasonic.co.jp

—ジェネリック医薬品を通じて皆様に貢献する—

日新製薬株式会社 **日新薬品株式会社**

〒994-0069 山形県天童市清池東二丁目3番1号 TEL 023(655)2131 FAX 023(655)2975
〒994-0001 山形県天童市万代3番6-2号 TEL 023(658)6116 FAX 023(658)6118



米沢 味・技・心のコミュニティパーク

上杉城史苑

TEL0238-23-0700
米沢市丸ノ内1丁目1-22
<http://uesugijoshien.jp>



確かな技術で未来をつくる。

ふるさと白鷹と
共に半世紀

株式会社鈴木工務店

代表取締役/鈴木 洋
本社・工場/白鷹町大字船貝5783 TEL0238-85-5191(代) FAX0238-85-5809
白鷹生コン工場 TEL0238-85-5586 FAX0238-85-5622



電気機器を通じて、省エネ社会を目指す

高島電機株式会社

代表取締役/井上 弓子
本社：990-2251 山形市立谷川1丁目1059-6
TEL023-686-5522 (代) FAX023-686-5649



萬屋薬局



山形市六日町2-3 ☎ 023-623-1805



観る
味わう
憩う
感動の旅を
あなたと共に...

本社/〒990-0047 山形市旅籠町二丁目5-12 山形メディアタワー
旅行会社正取引 協議会会員 <http://www.travel-ysk.co.jp>

山新観光株式会社

大切なお客様のおもてなしに...

玉貴

清流 庭園 山菜料理
<http://www.sansai-tamaki.com>
TEL0237-74-2364

〒990-0702 山形県西村山郡西川町間沢 80-1



食の世界から持続可能な社会へ
「感動」と「安心」を届けます

日東ベスト株式会社

本社/寒河江市幸町 4-27 TEL 0237-86-2100(代)
営業本部/千葉県船橋市習志野 4-7-1 TEL 047-477-2110

<https://www.nittobest.co.jp>

将棋の生産量日本一の街ならではの書き駒体験
をはじめ本格そば打ち体験などを実施中

将棋むら 天童タワー

〒994-0012 天童市久野本 1273-2
TEL 023-653-3222/FAX 023-653-3223



再生可能エネルギーとバイオガス発電システムで未来を拓く

天童環境株式会社

代表取締役社長 片桐 健悦
天童市石鳥居二丁目2番50号 ☎023-658-4141(代)



山形県/天童温泉

滝の湯

TAKINOYU HOTEL

TEL 023-654-2211

<https://www.takinoyu.com/> 〒994-0025 山形県天童市鎌田本町1-1-30

事業所弁当・幼稚園弁当・仕出し料理・社員食堂



株式会社 協栄給食

<http://kyoei-lunch.co.jp/>

〒994-0057 山形県天童市石鳥居二丁目1-23 TEL 023-674-7272

コマツ・コーポレーション

株式会社 小松写真印刷

「考える」をやめない。



本社 | 山形県酒田市京田2-59-3 〒998-0102
tel.0234-41-0011 fax.0234-41-0015
仙台支店 | 秋田支店 | 鶴岡支店 | 新潟営業所 | 山形営業所 | 東京事務所

www.komatsu-corp.co.jp



日本赤十字社 山形県支部
Japanese Red Cross Society

〒990-0023 山形市松波一丁目18番10号
TEL:023-641-1353 FAX:023-641-8861 <https://www.jrc.or.jp/chapter/yamagata/>
この広報誌は令和6年3月作成のため、決算などの確定数値については6月以降のホームページをご覧ください。
(各数値は特に断りのない場合、令和6年2月末時点となります)